

アーティストインタビュー

阪田宏彰 HIROAKI SAKATA

小金井在住のチェロ奏者、阪田宏彰さんが代表を務める弦楽四重奏団、YAMATO String Quartetが小金井に初登場！“組長”のニックネームで大人気の第1ヴァイオリン石田泰尚、第2ヴァイオリン執行恒宏、ヴィオラ榎戸崇浩、そして阪田さんからなるカルテットで、今年は結成30周年。ジャンルを超えたレパートリーと熱い演奏が魅力のYAMATO String Quartet、これまでの歩みと待望の小金井公演についてうかがいました。



© Tadayuki Minamoto

『カシミール』がYouTubeで大バズり！ 個性派カルテットの30年

弦楽四重奏団、YAMATO String Quartet(以下YSQ)は1994年に結成。みなさんお若く、阪田さんは大学を卒業したてでした。「石田(泰尚)はまだ音大生。当時から異彩を放っていましたが、現在の組長スタイルではなくサラサラヘアの可愛い後輩でした」

カルテットの名前の由来は……

「日本人らしい演奏があつていいのではないかと、日本人として誇りを持って取り組んでいきたい、そんな思いも込めて“YAMATO”にしました。結成当初、諸先輩方からは“弦楽四重奏では食っていけない”と助言も受けたのですが、それに対する反骨心もあり、おかげさまで30周年を迎えられました」

YSQのレパートリーはクラシックのみならず、映画音楽・ピアソラ作品・ハードロックやプログレッシヴロックなど幅広く、「弦楽四重奏の地平を拓けるプログラミングを進めている」とおっしゃる阪田さん。そのきっかけは、阪田さんがYSQ代表となった20年前にさかのぼります。

「僕が代表になったのは、他に雑用ができるメンバーがいなかったからです。とはいえ、やるからには何か爪痕を残したい。諸先輩方に食っていけないと言われた弦楽四重奏を人気のジャンルに押し上げることは今でも変わらない目標です。次に超個人的なメンバーと一緒にやっているのだからYSQでしかできないことに取り組みたい。そして、YSQの看板となる石田の独特なプレイスタイルを最大限に活かそうと考えました。そんなときに出会ったのが近藤和明氏編曲の『ピンク・パンサー変奏曲』。近藤さんのアレンジに惚れ込んでYSQへのアレンジを頼み込みました。タッグを組んでは幅広いジャンルの曲をアレンジしてもらいながら、“石田らしさを表現できるプログラムは何か”を近藤さんと探し続け、たどり着いたのがレッド・ツェッペリンの『カシミール』です。最初に音を出した瞬間の石田のなんと気持ちよさそうなこと！僕と近藤さんは思わずガッツポーズでした」

YSQの転換点のひとつとなった『カシミール』は、のちに海を越えて大反響を呼び、YouTubeでの再生数はただいま133万回！そんな『カシミール』も今回小金井で演奏します。

YSQの魅力満載のプログラムで 小金井に初登場！

30年を振り返ると、変わったこともあれば、変わらないこともあるといえます。

「新人の集まりだった4人がそれぞれキャリアを積み、多くの責任を負うようになりました。見た目も随分変わりましたね(笑)。変わら

ないことは、お客様ファーストの視点でしょうか。どうしたらお客様に楽しんでもらえるのかを常に考えています」

5月は待望の小金井初公演となりますが、実はメンバーには小金井はおなじみの場所だそうです。

「YSQのリハーサルは基本的に我が家で行っています。コロナが始まった頃はちょうど『ベートーヴェン中期後期全曲公演』に取り組んでいました。半年かけて完奏する予定で1000席が完売していましたが、延期に継ぎ延期によって1ヶ月間で全公演を、しかも500席ずつで同日2公演というブラックな企画をこなすことになったのです。日本が完全停止していた3ヶ月の間、2日にいっぺんは我が家に集まり、暑い中マスクをして窓を全開にしてリハーサルしていました。ご近所の方はかなりベートーヴェンに詳しくなったんじゃないかと思えます。そんなわけで、メンバーにとって小金井はもはや地元なんです。そんな小金井での初めての演奏会ですから、プログラムは、映画音楽・ピアソラ作品・ロックと人気のレパートリーをこれでもかと詰め込みました」

阪田さんが練りに練ったプログラムの中にあるクラシック曲は「30年前のデビューコンサートで取り上げて以来、大事な節目で取り上げてきた」というグリーグの弦楽四重奏曲。そこには阪田さんの信念があります。

「ダンスホールミュージックだったウイナ・ワルツがクラシックになったように、文化の血肉となった音楽をクラシックに飲み込んでいきたい。そうしてクラシックというジャンル名を“古い音楽”ではなく“未来に残る音楽”という意味にしていきたい。そしてロックやタンゴを聴きに来たお客様には、クラシックの歴史と魅力があつてこそそのタンゴやロックであることを感じていただきたい。それらを同じステージに乗せる公演でイチオシなのがグリーグです。『ゴジラ』『カシミール』とみまごうほどのエネルギー放出量を楽しんでいただきたいです。結局どちらも音楽なんだ！と思ってもらえたら嬉しいですね」

30年の集大成となるプログラム、激アツの演奏をお聴き逃しなく！



【FOCUSこがねい】

〈予定枚数終了〉

YAMATO String Quartet

2024年5月18日(土) 14:00開演 大ホール

全席指定 一般 4,000円 U25席 2,000円

【こがねいメンバーズ】 一般 3,600円

石田泰尚(ヴァイオリン) 執行恒宏(ヴァイオリン)

榎戸崇浩(ヴィオラ) 阪田宏彰(チェロ)

